

今週（1月16日から1月20日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、マクロ加算残高にかかる基準比率が、53.0%(前積み期比+6.5%)に上昇した事を背景に、邦銀業態を中心に調達意欲が非常に強い展開となった。

無担保コールO/N物のレート水準は、積み初日となった16日こそ、▲0.025%前後での取引が中心となったが、その後は、日を追う毎に上昇し、18日と19日には▲0.01%前後での取引が中心となった。20日は、週末3日積みとなった事もあり、引き続き調達ニーズの強い展開が継続された。

ターム物に関しては、1~2W程度のショートタームを中心に、散発的な出合いが見られた程度となった。

日銀当座預金残高は、500兆円台後半から510兆円台前半での推移となった。

1月17日から18日に開催された金融政策決定会合では、金融市場調節方針及び資産買入れ方針ともに現状維持となった。また、①貸出増加を支援するための資金供給の貸付実行期限を1年間延長、②気候変動対応オペの対象先の拡大、③共通担保資金供給オペの拡充も決定された。

このうち共通担保資金供給オペに関しては、18日に期間5年物のオファー予定が公表された。条件は、23日オファー、貸付期間5年(2023/1/24~2028/1/24)、金額はオファー時に通知、入札方式による全店貸付での実施予定とされた。

●レボ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.14~▲0.09%程度のレンジでの推移となった。16日は▲0.13~▲0.09%程度、17日と18日は▲0.14~▲0.09%程度、19日と20日は▲0.12~▲0.09%程度で出合いが見られた。

SCは、10年物のカレント銘柄近辺やチーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、19日に1Y物の入札が実施され、やや堅調な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでもしっかりと推移した。また、20日に実施された3M物入札では、事前予想通り無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも堅調な推移となった。

17日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でオファーされ、全取利回り較差、平均落札利回り較差ともに+0.052%と弱めの結果となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、石油、小売業、鉄鋼等、複数の業態から大型発行が実施された。週間では、発行総額8,800億円に対し、償還総額6,700億円と、発行超のマーケットとなった。市場残高は、緩やかな増加傾向となり、17日に28兆円台を回復した。

発行レートは、3月末までに償還する日銀適格担保銘柄では、概ね0%から小幅のプラスでの出合いが中心となった。一方で、年度末越えの案件や残高が膨らんだ銘柄については、一部の投資家に慎重な姿勢が見られ、レート水準にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
1/16 (月)	25,822.32	0.500	127.65	△ 0.026	△ 0.112	5,084,700
1/17 (火)	26,138.68	0.500	128.71	△ 0.014	△ 0.117	5,109,300
1/18 (水)	26,791.12	0.415	128.84	△ 0.011	△ 0.122	5,123,400
1/19 (木)	26,405.23	0.405	128.40	△ 0.010	△ 0.111	5,126,600
1/20 (金)	26,553.53	0.400	128.65	△ 0.010	△ 0.102	5,105,500

来週（1月23日から1月27日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
1/23 (月)	金融政策決定会合議事要旨(12月19・20日分 8:50)				
1/24 (火)		流動性供給 5,000億円 1/25発行	交付税借入 12,000億円 2/2借入		
1/25 (水)	11月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				
1/26 (木)	決定会合における主な意見(1月17・18日分 8:50) 12月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	40Y 7,000億円 1/27発行			10-12月期の米GDP速報値 12月の米新築一戸建て販売件数 12月の米耐久財新規受注
1/27 (金)	1月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 60,000億円 1/30発行			12月の米個人所得・消費支出

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
1/23 (月)	1,000	4,300	5,300	国債買入 国債補完 CP買入 社債買入		18,600	97,900	103,200	TB3M発行▲60,000償還60,000
1/24 (火)	▲ 500	▲ 3,000	▲ 3,500	社債買入		1,000	1,000	▲ 2,500	
1/25 (水)	1,000	26,000	27,000	全店共通	▲ 1,400		▲ 1,400	25,600	TB6M償還24,000 流動性供給▲5,000 交付税借入▲13,000期日13,000
1/26 (木)	▲ 1,000	20,000	19,000				0	19,000	
1/27 (金)	2,500	▲ 9,000	▲ 6,500	新型コロナオペ	▲ 8,100		▲ 8,100	▲ 14,600	40Y発行▲7,000
週間合計	3,000	38,300	41,300	—	69,800	19,600	89,400	130,700	

1/23は日銀予想、1/24以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、無担保コールO/N物のレートは、比較的高い水準での取引が中心となろう。債券レポGC O/N物は、5年物の共通担保オペの動向次第ではあるが、▲0.15～▲0.09%程度での推移を予想する。短国市場は、27日に3M物の入札実施が予定されている。また、24日に実施が予想される短国買入オペは、1,000～5,000億円程度が見込まれる。CP市場は、25日にCP等買入オペが4,000億円で予定されており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では、23日に金融政策決定会合議事要旨(12月19・20日分)、27日に1月の都区部消費者物価指数、海外では、26日に10-12月期の米GDP速報値、12月の米新築一戸建て販売件数、27日に12月の米個人所得・消費支出(PCE)などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入